

■ ランディ

👉 アドバイス

本説明書は「フロント・リヤセット」、「フロントのみ」の2つの製品の取付方法について記載しています。タイトルや本文に記載しているコメントを参考にして、それぞれの製品の取り付けを行ってください。

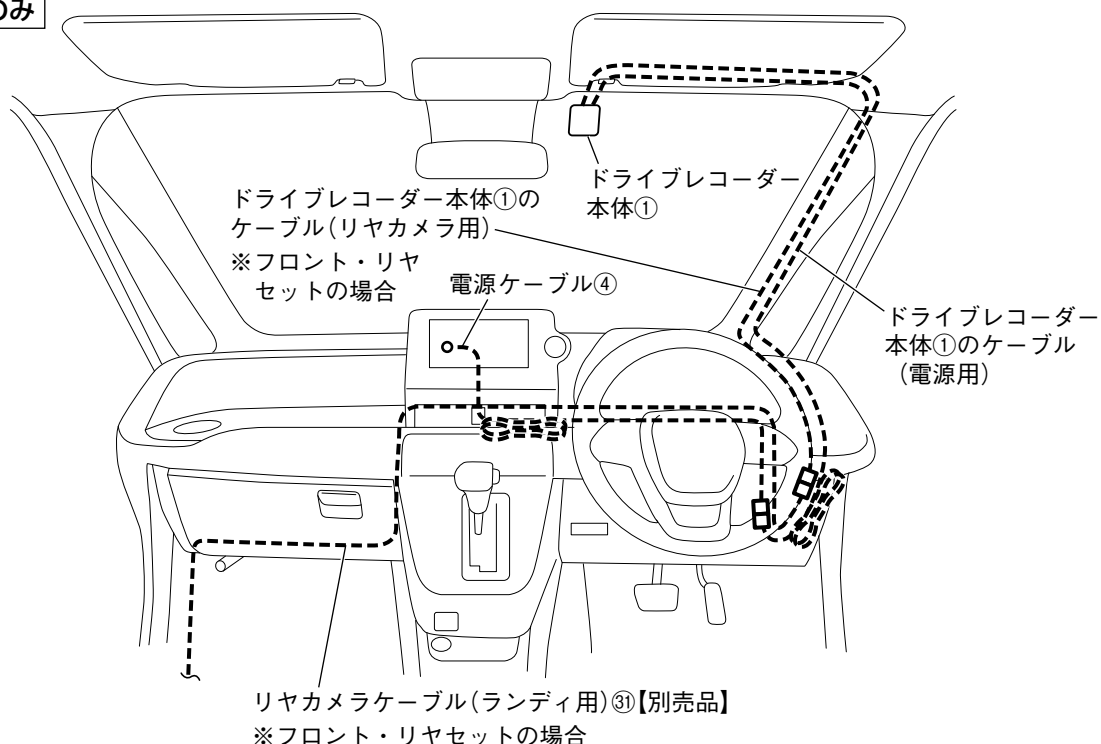
1. 取付概要図

注 記

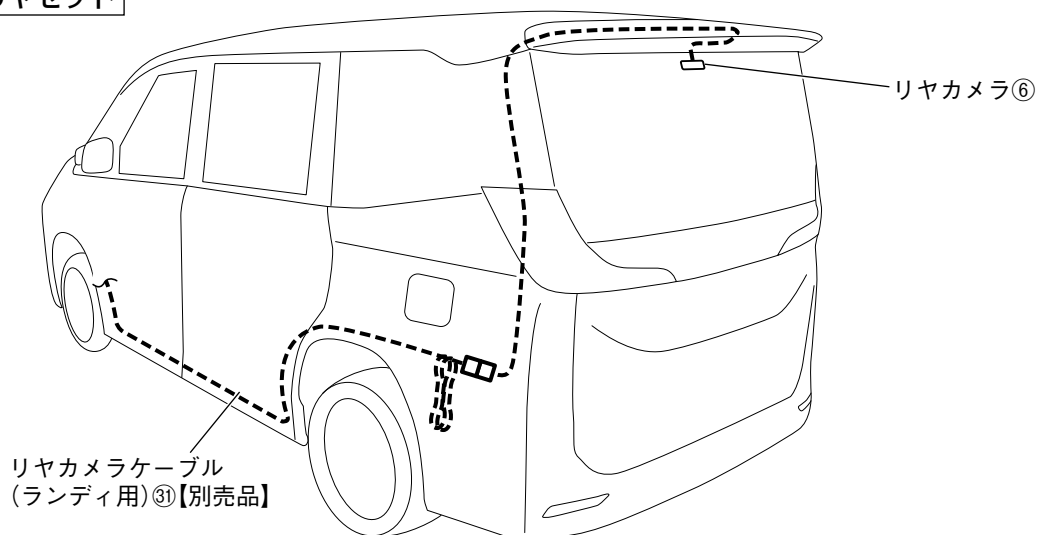
本車両に「フロント・リヤセット」を取り付ける際は、本製品に同梱のリヤカメラケーブル⑩は使用しません。別売品のリヤカメラケーブル（ランディ用）③⑪を使用してください。

フロント・リヤセット

フロントのみ

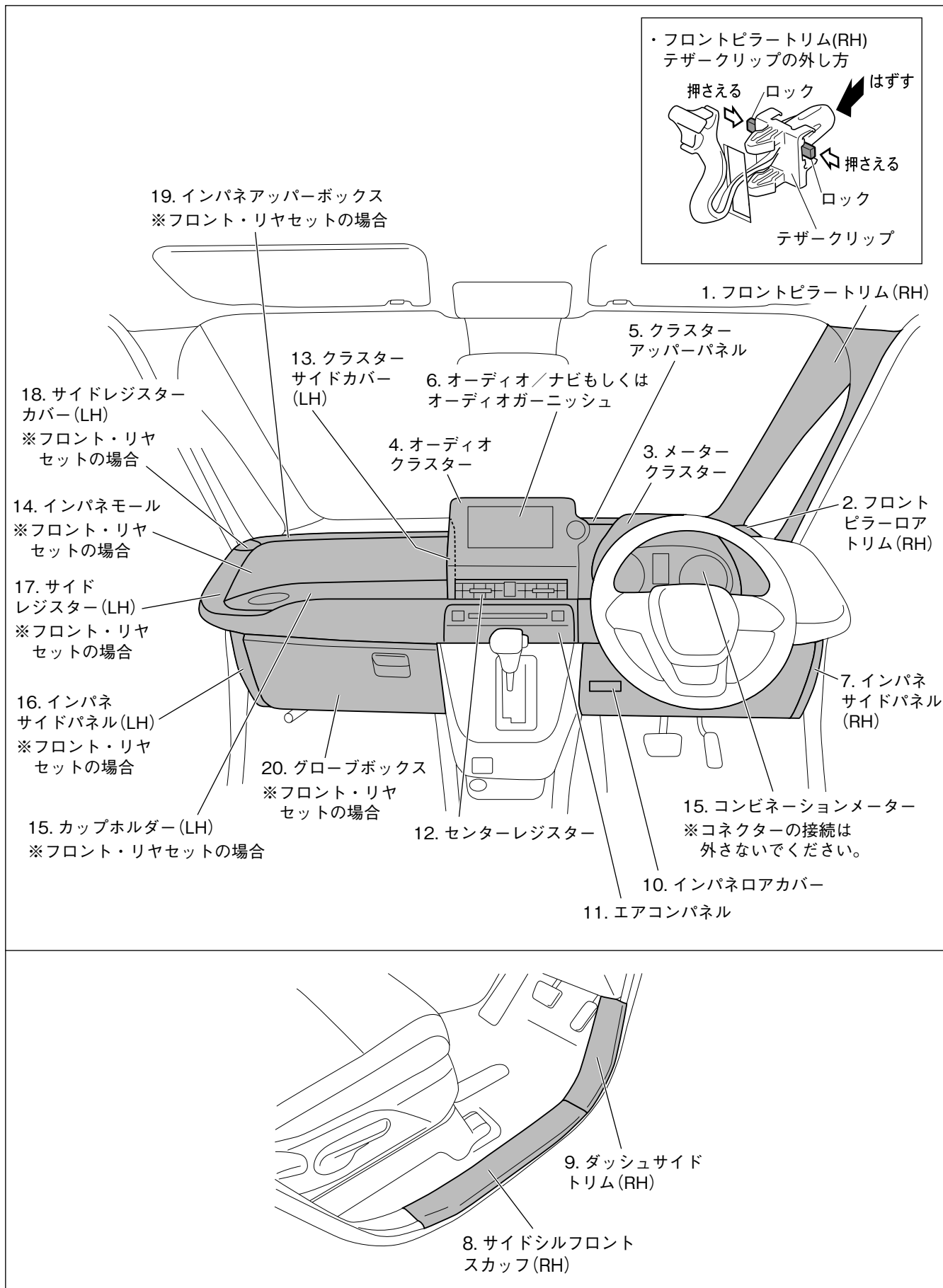


フロント・リヤセット



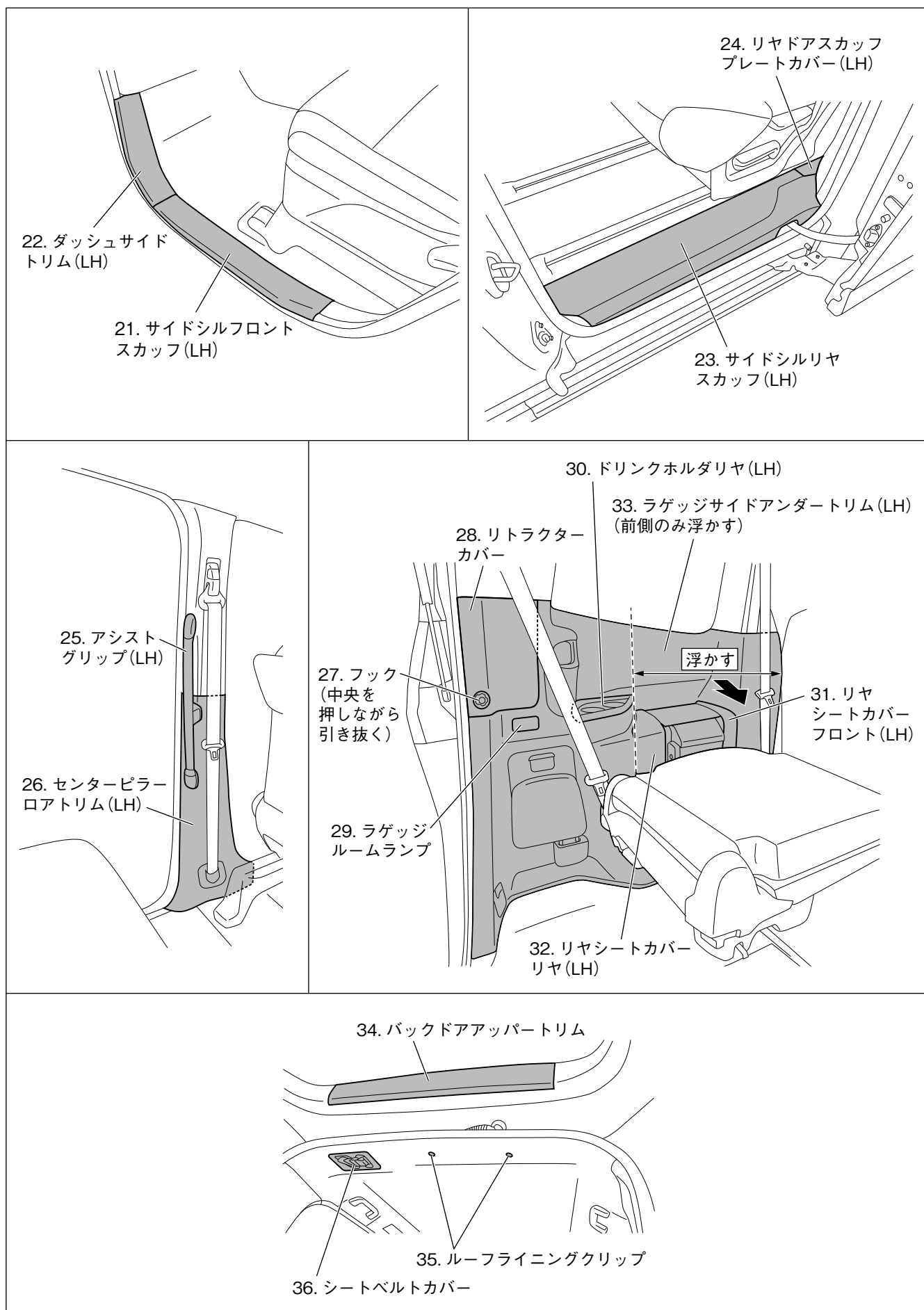
2. 車両部品の取り外し

1. 図中の番号順に車両部品を取り外します。



 アドバイス

「フロント・リヤセット」時は、以下の車両部品も取り外してください。



3. 取付前の準備

a. クッションテープおよび保護シートの準備

フロント・リヤセット

フロントのみ

●フロント・リヤセットの場合

クッションテープ(200×100mm)⑫

60×50mm A	60×50mm A	40×25mm B	40×25mm B
		40×25mm B	40×25mm E
60×50mm A	120×20mm D		

50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C
50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C
50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C
50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C

50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C
50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C
50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C	
50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C	

1. クッションテープ⑫を左図のようにカットします。

A：コネクター接続部巻き付け用

B：ドライブレコーダー本体①の
ケーブル巻き付け用

C：ケーブル固定用

D：余長束ね用

E：アースコード固定用

保護シート(200×100mm)⑬

50×30mm F	50×30mm F	50×30mm F	50×30mm F
50×30mm F	80×50mm F		60×50mm F

120×30mm F	
---------------	--

2. 保護シート⑬を左図のようにカットします。

F：エッジ保護用

●フロントのみの場合

クッションテープ(200×100mm)⑫

60×50mm A	40×25mm B	50×25mm C	50×25mm C
	40×25mm B	50×25mm C	50×25mm C
	40×25mm B	50×25mm C	50×25mm C
	40×25mm D	50×25mm C	

- クッションテープ⑫を左図のようにカットします。

A：コネクター接続部巻き付け用
B：ドライブレコーダー本体①のケーブル巻き付け用
C：ケーブル固定用
D：アースコード固定用

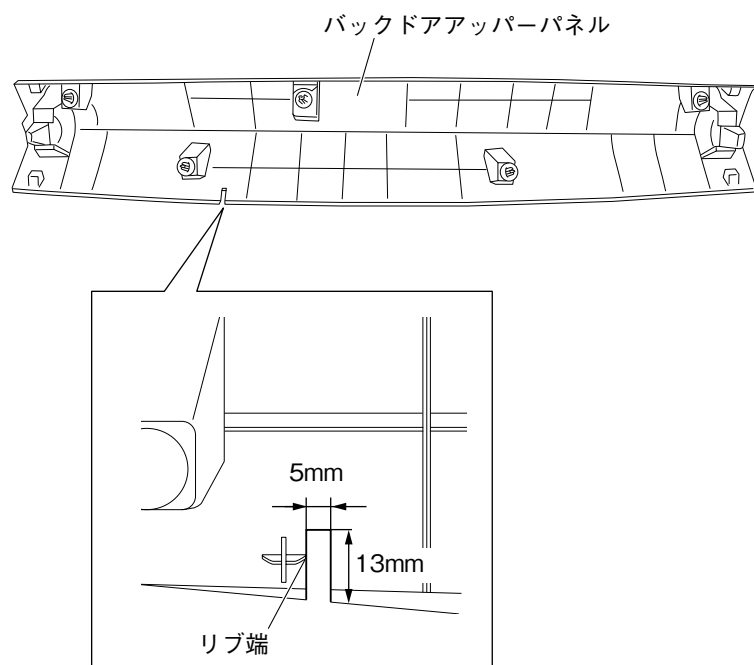
保護シート(200×100mm)⑬

80×50mm E	60×50mm E	

- 保護シート⑬を左図のようにカットします。

E：エッジ保護用

b. バックドアアップパートリムの切り欠き加工 フロント・リヤセット



- バックドアアッパーパネルの図示位置にケーブル配線用の切り欠き加工をします。

注記

切り欠き加工部は、ヤスリがけしてバリ取り作業をおこなってください。



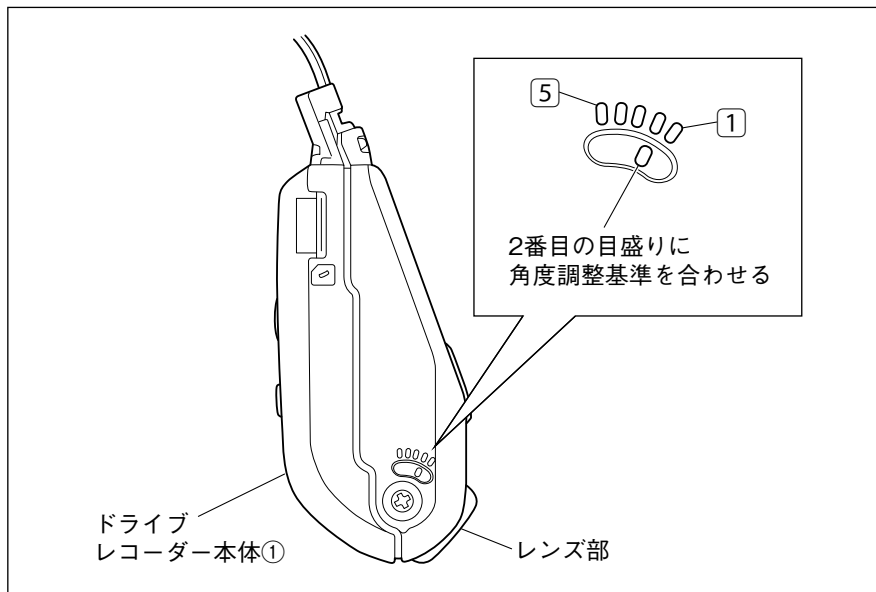
アドバイス

切り欠き加工はニッパー等を使用すると簡単に作業が行えます。

4. 取付要領

a. カメラ角度調整 フロント・リヤセット フロントのみ

●ドライブレコーダー本体



1. ドライブレコーダー本体①のレンズ部の角度を左図位置に固定します。

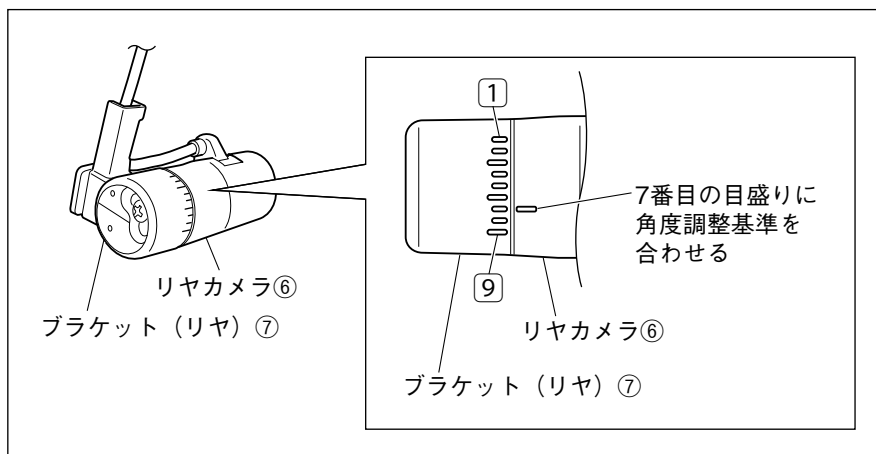
注 記

- ・カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- ・しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。

👉 アドバイス

ドライブレコーダー本体①レンズ部の角度調整方法の詳細は、共通編の「<ドライブレコーダー本体の取り付け>」を参照してください。

●リヤカメラ



注 記

以下の作業は「フロント・リヤセット」時のみ行ってください。

1. ブラケット (リヤ) ⑦をリヤカメラ⑥に組み付け、左図位置に固定します。

注 記

- ・取り付け後の本体位置ずれ・傾きを抑制するため、共通編 21 ページに記載しているケーブル引き回しの作業内容を参照の上配線してください。
- ・カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- ・しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。

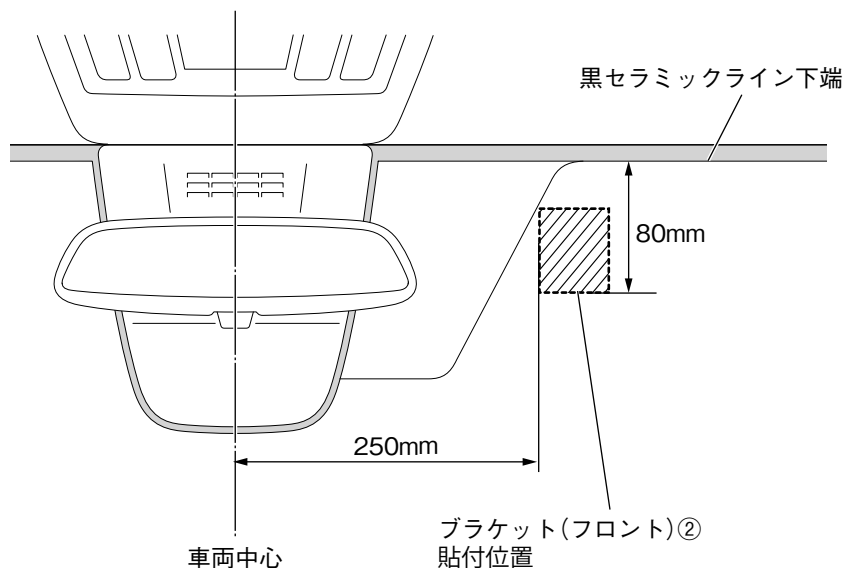
👉 アドバイス

ブラケット (リヤ) ⑦の組み付けの詳細は、共通編の「<リヤカメラの組み立て>」を参照してください。

b. カメラ取付位置 **フロント・リヤセット** **フロントのみ**

●ドライブレコーダー本体

<車室内視>



1. ブラケット（フロント）②をフロントガラス内側の左図位置に取り付けます。

注 記

- ・取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- ・気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

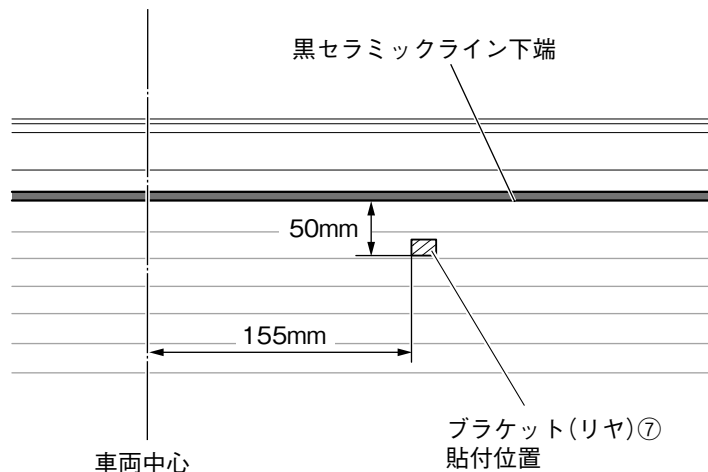
アドバイス

ドライブレコーダー本体①、ブラケット（フロント）②の取り付けの詳細は、共通編の「<ドライブレコーダー本体の取り付け>」を参照してください。

2. ドライブレコーダー本体①をブラケット（フロント）②に取り付け、ネジ（M3 × 5.5mm）③で固定します。

●リヤカメラ

<車室内視>



注 記

以下の作業は「フロント・リヤセット」時のみ行ってください。

1. ブラケット（リヤ）⑦をバックドアガラス内側の左図位置に取り付けます。

注 記

- ・取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- ・気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

アドバイス

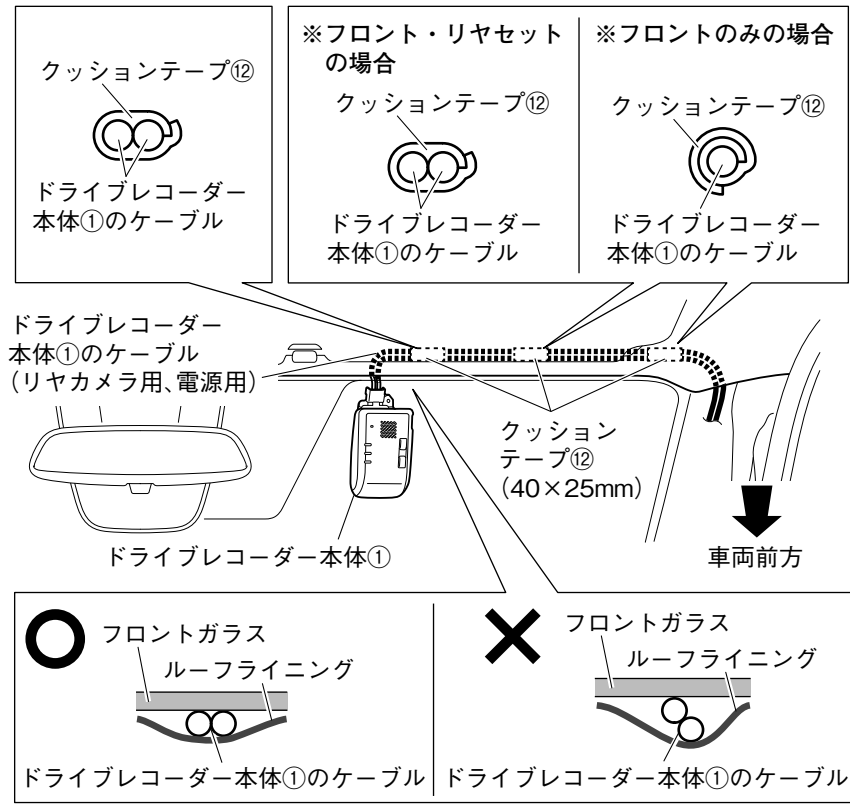
リヤカメラ⑥、ブラケット（リヤ）⑦の取り付けの詳細は、共通編の「<リヤカメラの取り付け>」を参照してください。

c. ドライブレコーダー本体のケーブル（リヤカメラ用、電源用）配線

フロント・リヤセット

フロントのみ

<ルーフライニング部の配線>



注 記

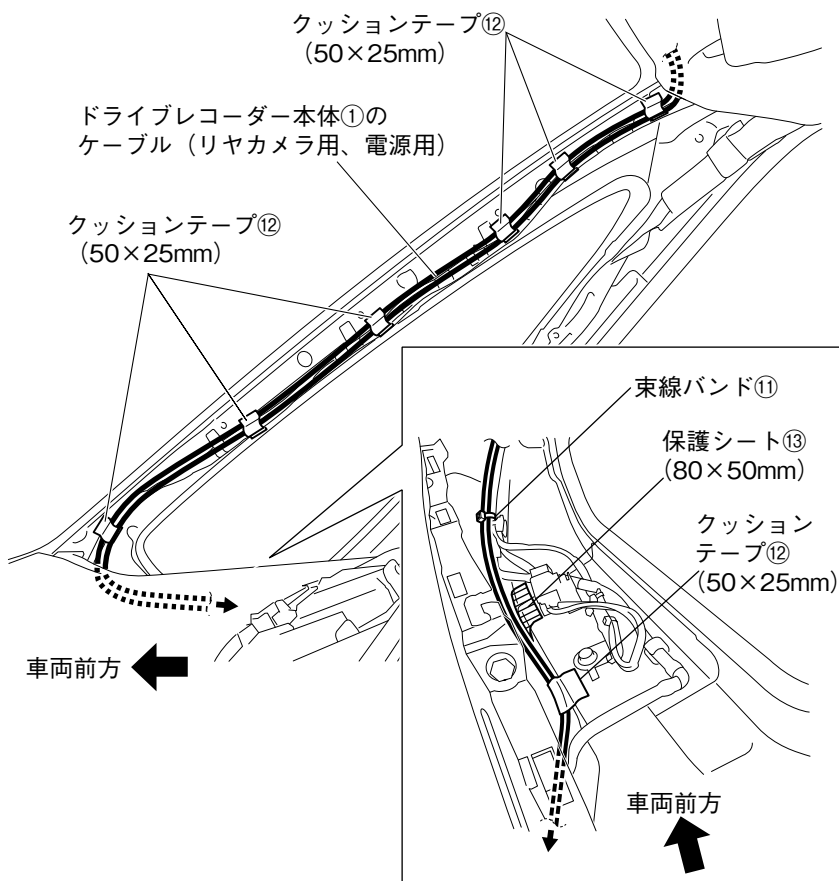
「フロントのみ」の場合は、ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）の配線作業はありません。

1. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）にクッションテープ⑫を巻き付けます。
2. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）をルーフライニング内に入れ込みながら、フロントピラー部へ配線します。

注 記

ルーフライニング引込部のドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）はフロントガラスと並行になるようにしてください。

<右側フロントピラー部の配線>



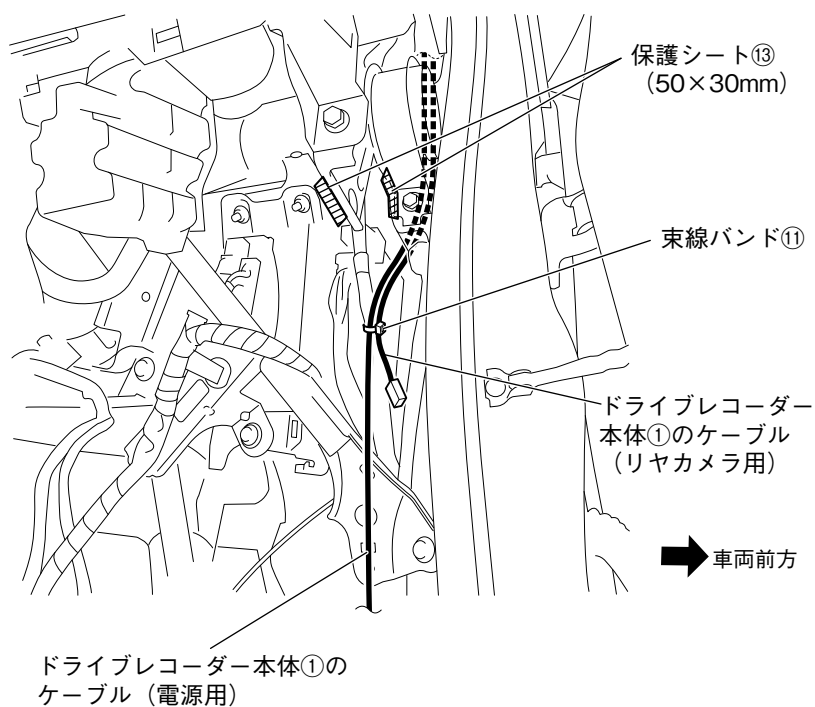
3. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）をフロントピラーにクッションテープ⑫と束線バンド⑪で固定しながら配線します。

注 記

- ・ 図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。
- ・ ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）およびクッションテープ⑫は、カーテンエアバッグの部品と接触しないように配策・固定してください。
- ・ クッションテープ⑫でフロントピラートリムの固定クリップ穴をふさがないでください。また、フロントピラートリムの当てリブ部と干渉しないようにしてください。

4. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）をフロントピラーとダッシュボードのすき間から運転席足元右側に配線します。

<運転席右側>



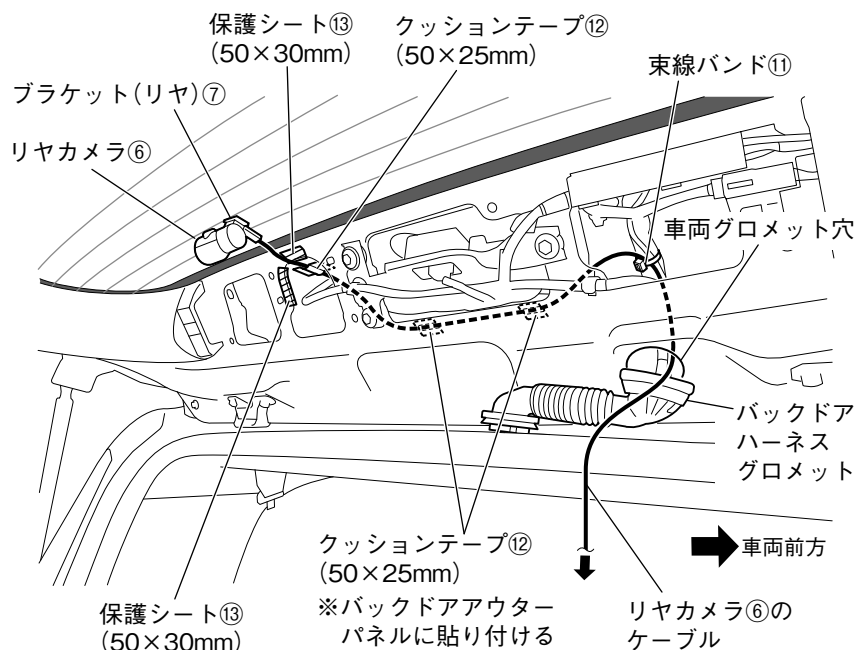
5. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注 記

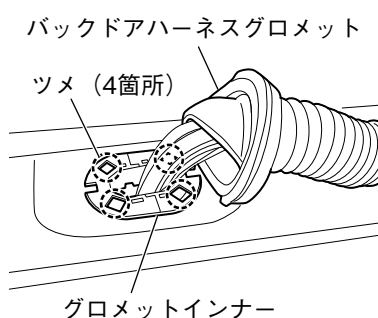
図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。

d. リヤカメラのケーブル配線 フロント・リヤセット

<バックドア上部>

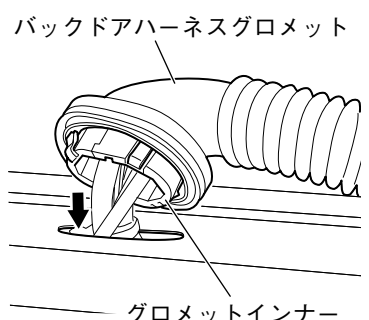


<バックドアハーネスグロメット室内側の取り外し>



- ① グロメットインナーからバックドアハーネスグロメットを外してください。
- ② ツメ (4箇所) のかん合を外し、グロメットインナーを車体から外してください。

<バックドアハーネスグロメット室内側の復元>



- ① グロメットインナーをバックドアハーネスグロメットにはめてください。
- ② バックドアハーネスグロメットを車体にはめ込んでください。
※ツメ (4箇所) のかん合を確実にはめてください。

1. バックドアハーネスグロメットの両端をバックドア側および室内側から外します。

注記

バックドアハーネスグロメットの室内側にはグロメットインナーがあります。グロメットインナーを車体から一旦外し、バックドアハーネスグロメットにはめてから復元してください。

2. リヤカメラ⑥のケーブルをバックドア側の車両グロメット穴まで通します。

注記

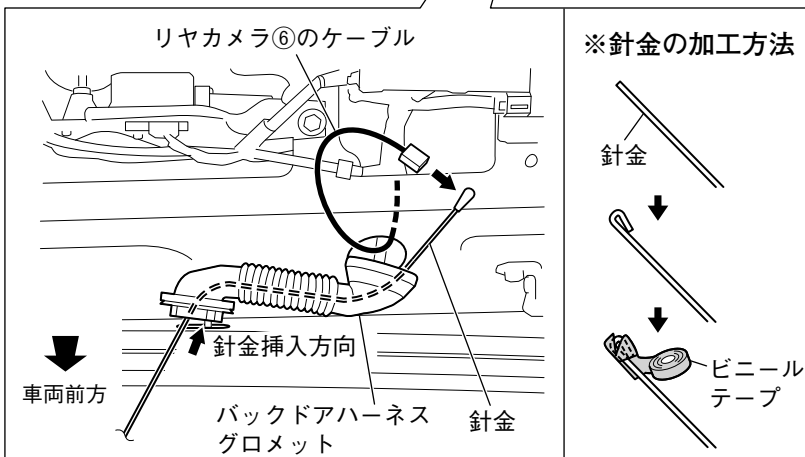
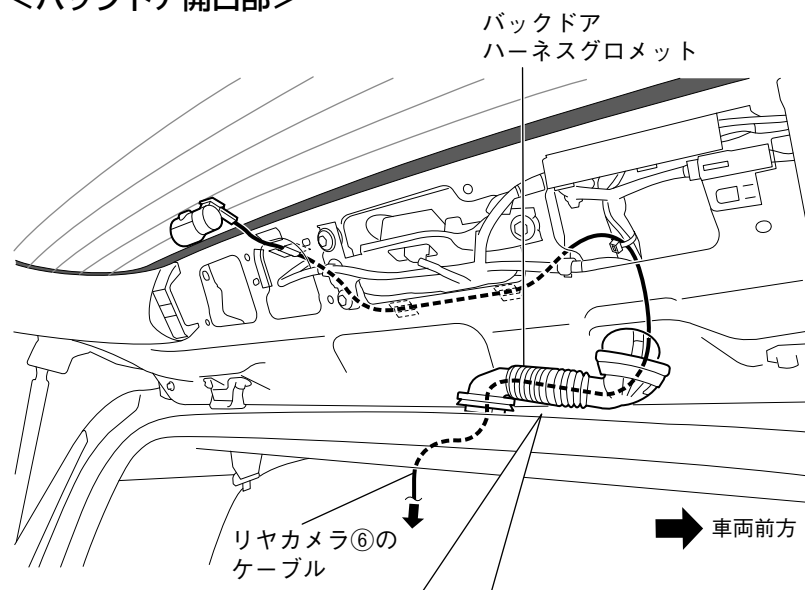
- ・リヤカメラ⑥のケーブルがブラケット(リヤ)⑦の奥まで確実に押し込まれていることを確認してください。
- ・リヤカメラ⑥のケーブルは、配線作業中に引っ張ったりして、ブラケット(リヤ)⑦の奥から外れないようにしてください。

3. 束線バンド⑪とクッションテープ⑫でリヤカメラ⑥のケーブルを固定します。

注記

図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。

<バックドア開口部>



- 針金を使用してバックドアハーネスグロメット内にリヤカメラ⑥のケーブルを通し、室内側まで配線します。

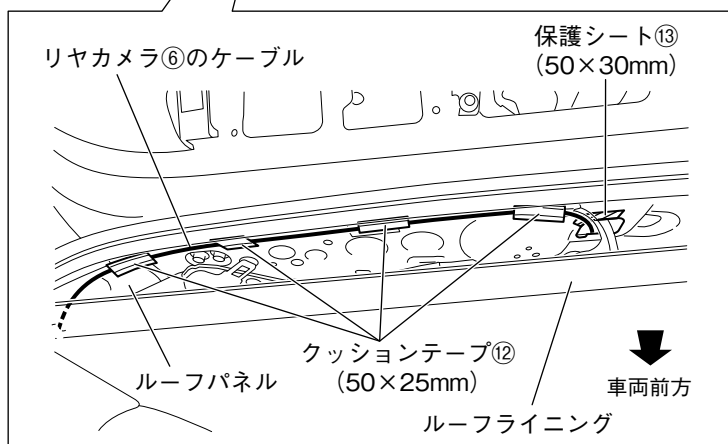
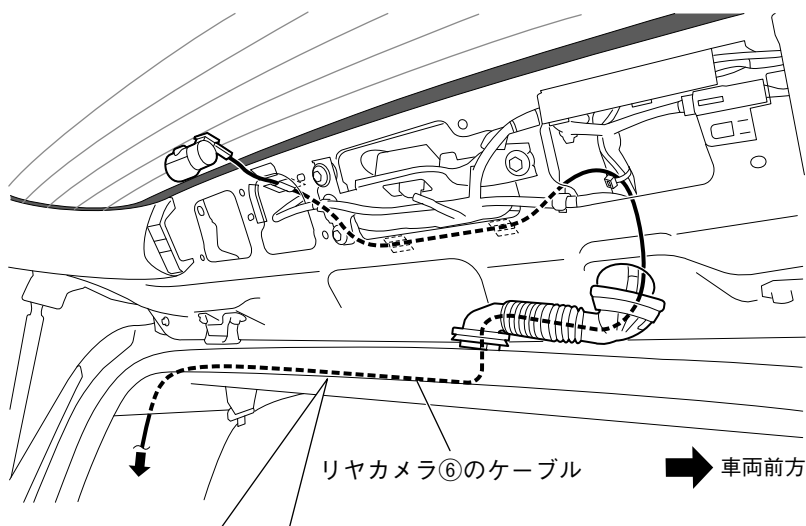
注 記

- バックドアハーネスおよびリヤカメラ⑥のケーブル破損防止のため、無理に引っ張ったりしないでください。
- リヤカメラ⑥のケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクタや端子に中性洗剤等がかからないようにしっかりテーピングしてください。

アドバイス

- 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- 折り曲げた側の針金をバックドアハーネスグロメットの室内側からバックドア側に通してください。
- リヤカメラ⑥のケーブルのコネクタを針金にしっかりテーピングしてください。

<バックドア開口部>

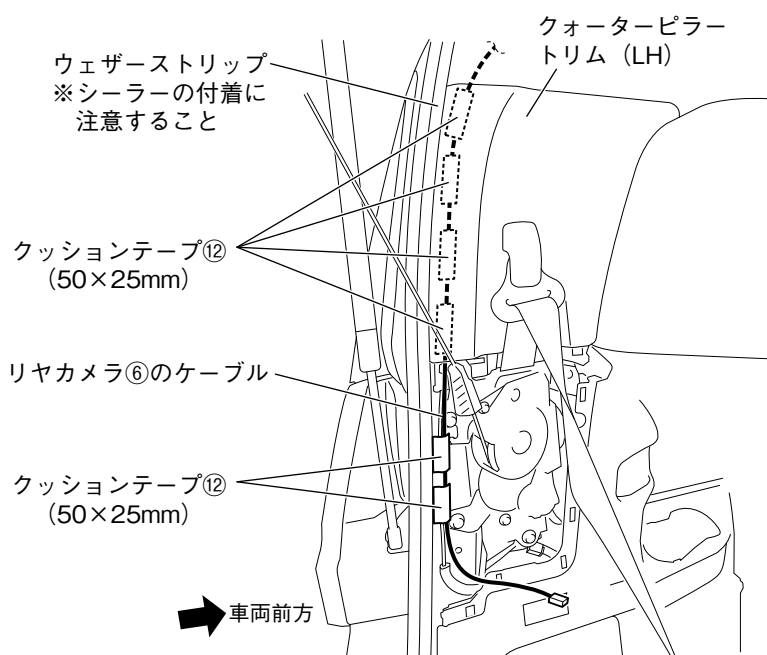


- リヤカメラ⑥のケーブルをルーフライニングとルーフパネルの間に配線し、クッションテープ⑫でルーフパネルに固定します。

注記

- 図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。
- リヤカメラ⑥のケーブルやクッションテープ⑫がルーフライニングのクリップ穴等をふさがないようにしてください。

<バックドア開口部左側>



- バックドア開口部左側のリヤカメラ⑥のケーブルをクォーターピラートリム (LH) 内に配線し、クッションテープ⑫で固定します。

注記

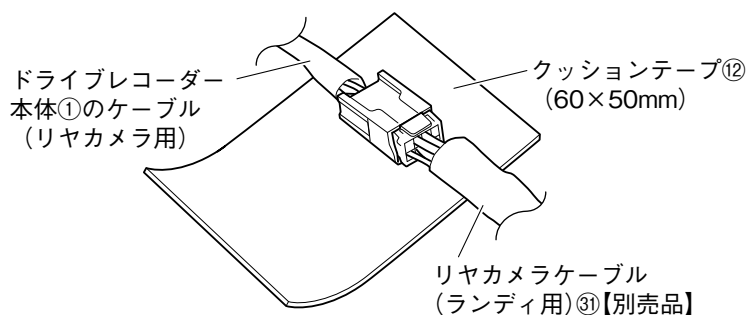
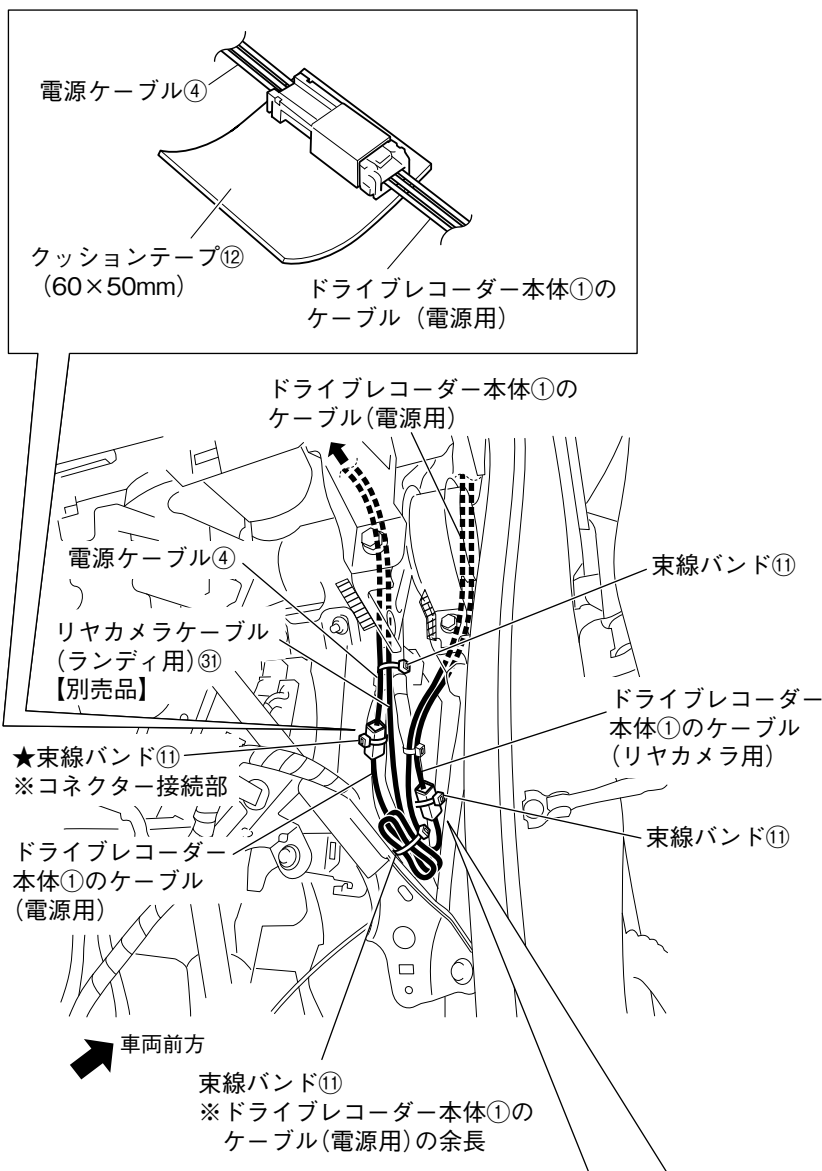
- クォーターピラートリム (LH) 内の配線および固定は、ウェザーストリップを一旦外して行ってください。
- ウェザーストリップの内側にはシーラーが塗布されているため、ウェザーストリップを外すとシーラーが露出してしまいます。シーラーが車両部品に付着しないよう注意して作業を行ってください。
- クッションテープ⑫は、ウェザーストリップの復元時に噛み込まない位置で固定してください。
- 固定後はウェザーストリップを確実に復元してください。

e. リヤカメラケーブルと電源ケーブルの配線

フロント・リヤセット

フロントのみ

<運転席右側>



注 記

「フロントのみ」の場合は、ドライブレコーダー本体①のケーブル (リヤカメラ用) とリヤカメラケーブル (ランディ用) ③①【別売品】の配線作業はありません。

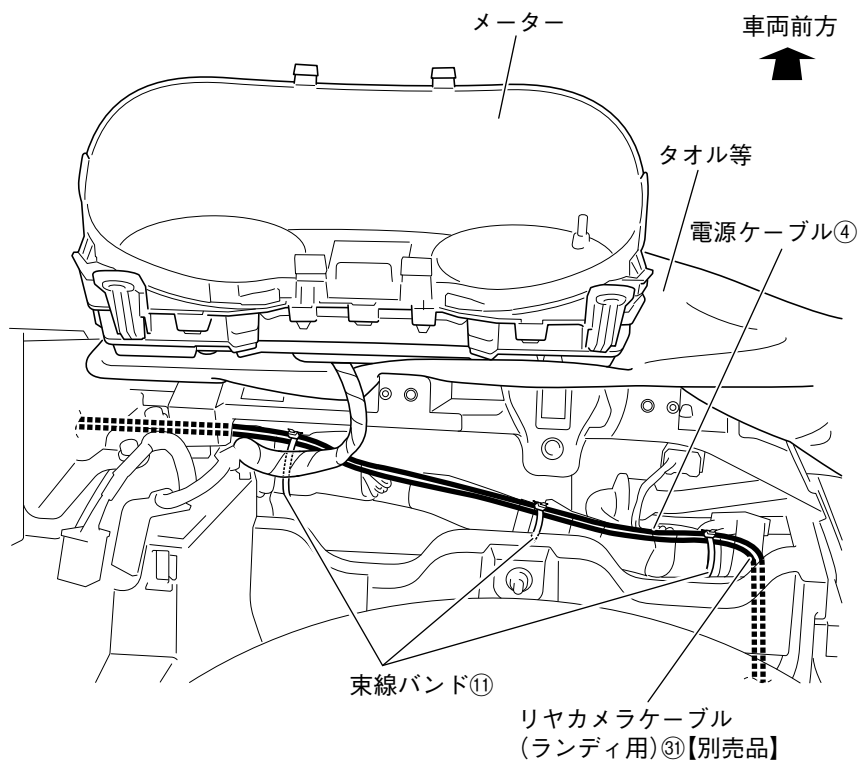
1. ドライブレコーダー本体①のケーブル (電源用) と電源ケーブル④を接続します。
2. 接続したコネクタ部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
3. ドライブレコーダー本体①のケーブル (電源用) と電源ケーブル④を接続したコネクタ部を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注 記

★部の束線バンド⑪は、図示位置でコネクタ接続部を固定してください。

4. リヤカメラケーブル (ランディ用) ③①【別売品】をドライブレコーダー本体①のケーブル (リヤカメラ用) に接続します。
5. 接続したコネクタ部にクッションテープ⑫を巻き付け、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
6. 電源ケーブル④とリヤカメラケーブル (ランディ用) ③①【別売品】をオーディオ開口部まで配線し、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
7. ドライブレコーダー本体①のケーブル (電源用) の余長は図示位置で束ねてリヤカメラケーブル (ランディ用) ③①【別売品】と一緒に束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

<コンビネーションメーター取付部>



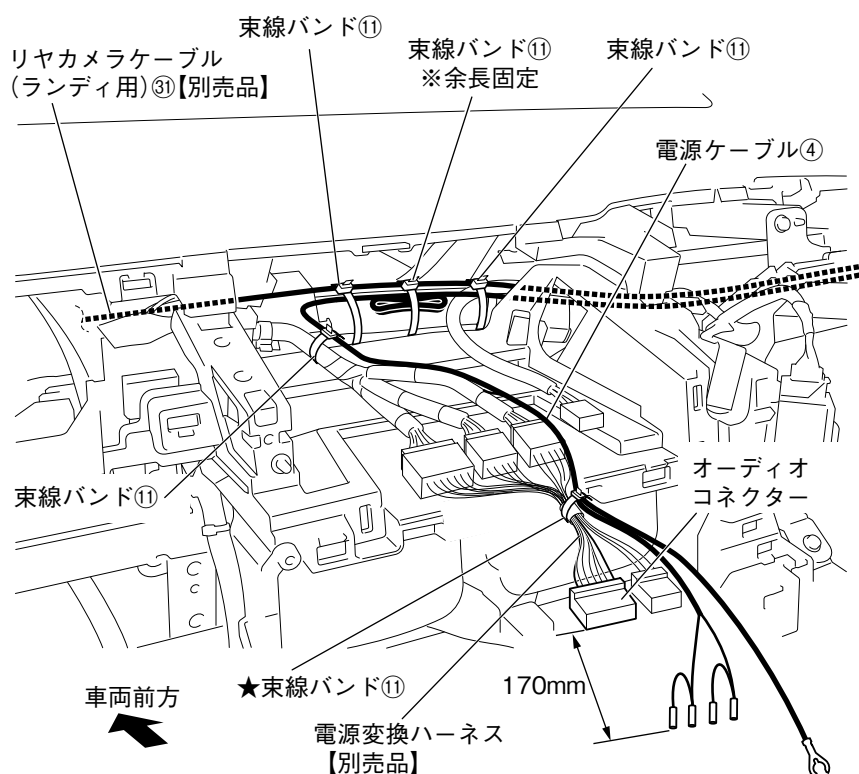
8. ダッシュボードの上をタオルなどで保護し、メーターを置きます。

注記

- ・メーターのコネクターを外さないで作業してください。
- ・外した場合は、事前と復元時に所定の作業が必要です。サービスマニュアルを参考に行ってください。

9. 電源ケーブル④とリヤカメラケーブル (ランディ用) ③【別売品】をオーディオ開口部まで配線し、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

<オーディオ開口部>



10. オーディオ開口部の電源ケーブル④とリヤカメラケーブル (ランディ用) ③【別売品】を束線バンド⑪で電源変換ハーネス【別売品】と車両ハーネスに固定します。

注記

★部の束線バンド⑪は、電源ケーブル④のギボシ端子先端からオーディオコネクター先端までを図示寸法に合わせて固定してください。

11. 電源ケーブル④の余長を束ねて束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

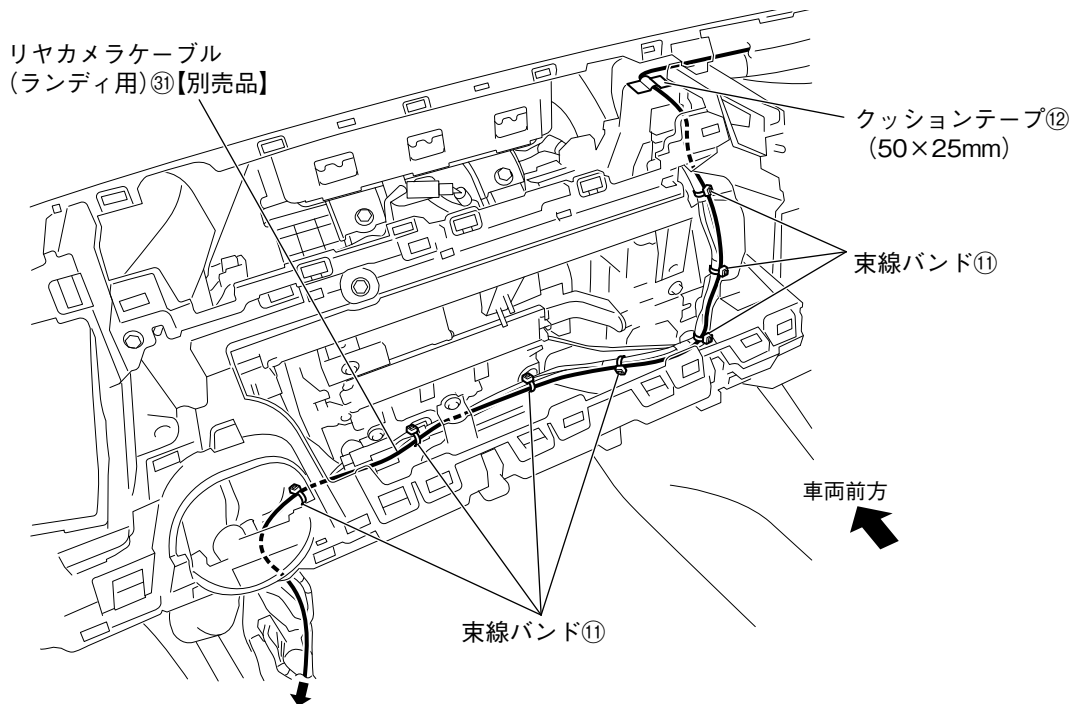
12. リヤカメラケーブル（ランディ用）③①【別売品】をインパネ助手席側を経由してバックドア開口部左側まで配線します。
13. リヤカメラケーブル（ランディ用）③①【別売品】をリヤカメラ⑥のケーブルに接続します。
14. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
15. リヤカメラケーブル（ランディ用）③①【別売品】を束線バンド⑪とクッションテープ⑫で固定します。

注 記

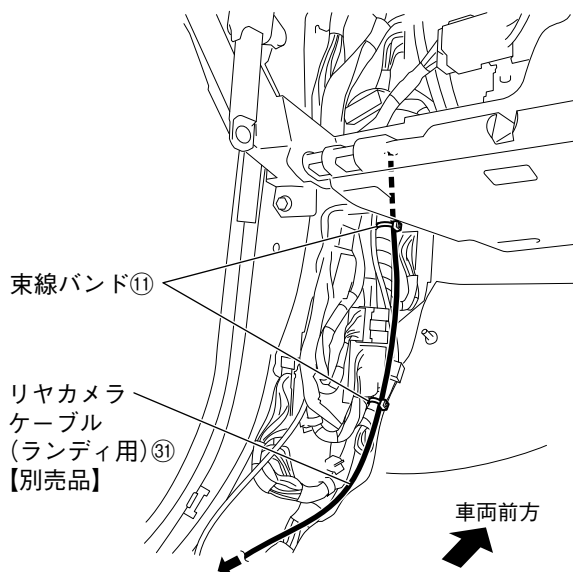
サードシート左側のリヤカメラケーブル（ランディ用）③①【別売品】図示位置に保護シート⑬を貼り付けてください。

16. リヤカメラケーブル（ランディ用）③①【別売品】の余長をクッションテープ⑫で束ねた後、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

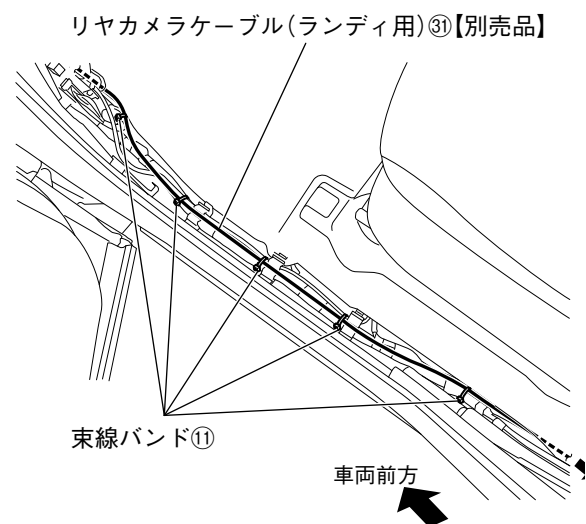
<インパネ助手席側>



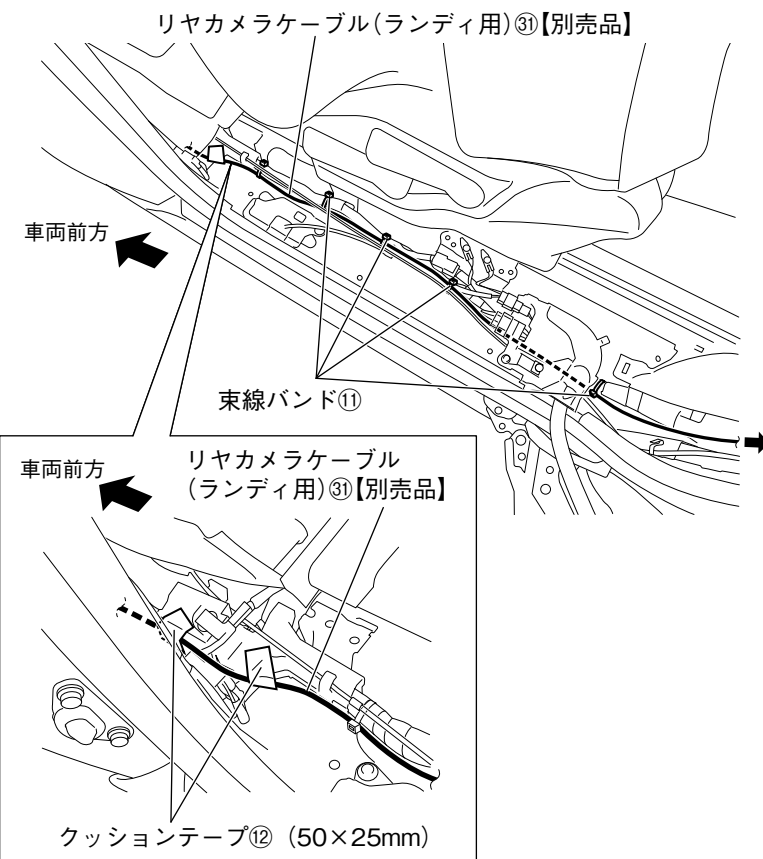
<助手席足元左側>



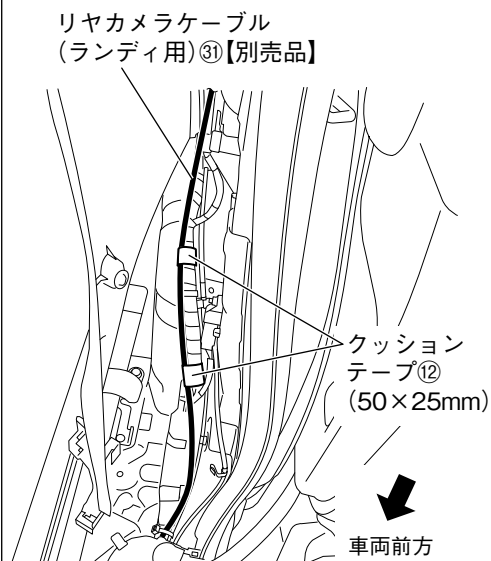
<フロントドア左側開口部>



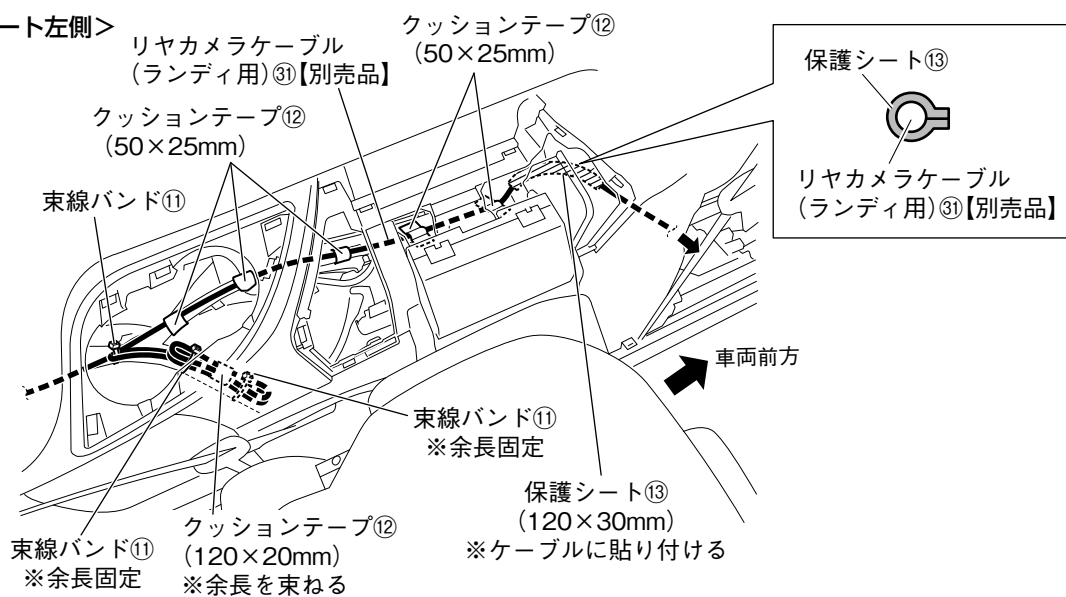
<リヤドア左側開口部>



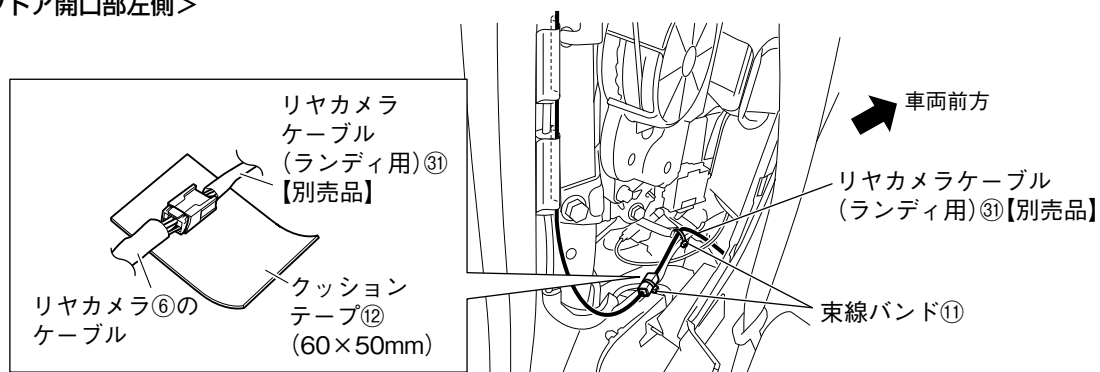
<リヤホイールハウス左側前部>



<サードシート左側>



<バックドア開口部左側>

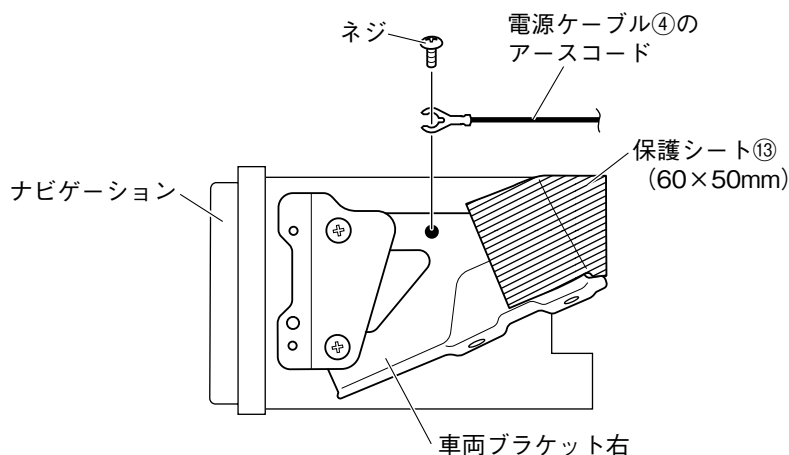


f. 電源ケーブルのアースコードの接続

フロント・リヤセット

フロントのみ

<アースコードの接続 -1>

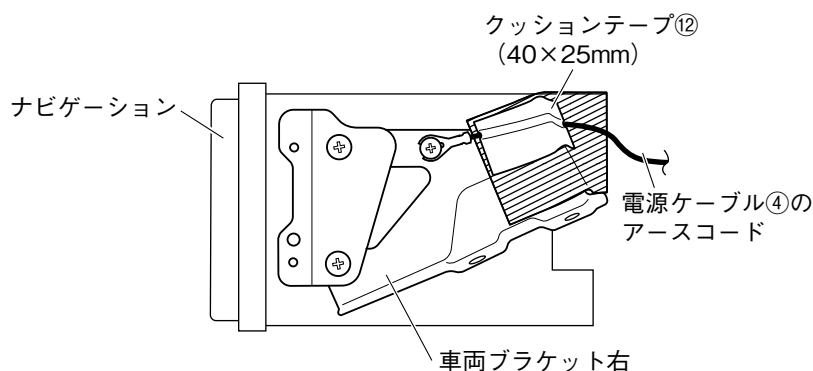


1. 電源ケーブル④のアースコードを車両ブラケットの図の位置に固定します。

注記

- ・ 板金エッジ部に保護シート⑬を左図のように貼り付けてください。
- ・ アースが確実に取れていることをテスターで確認してください。

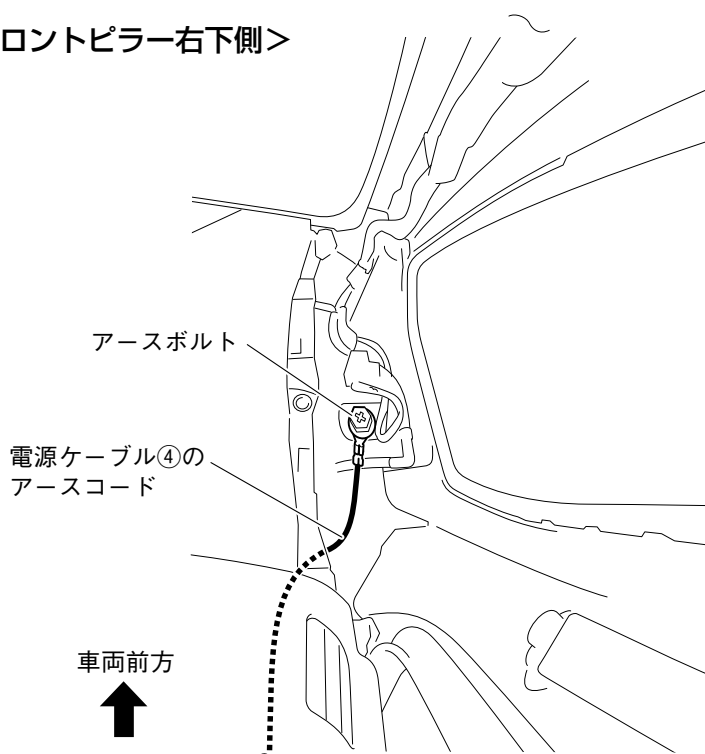
<アースコードの接続 -2>



2. 電源ケーブル④のアースコードをクッションテープ⑫で左図のように固定します。

●本製品とナビゲーションもしくはオーディオを同時取付しない場合

<フロントピラー右下側>



- ・ ドライブレコーダー本体①とナビゲーション【別売品】もしくはオーディオ【別売品】を同時に取付けない場合は、図示位置のアースボルト部にてアースをとり、取付後の確認を行います。

また、確認終了後はアース端子を取り外し、ナビ、オーディオ取り付け部へ配線してください。

注記

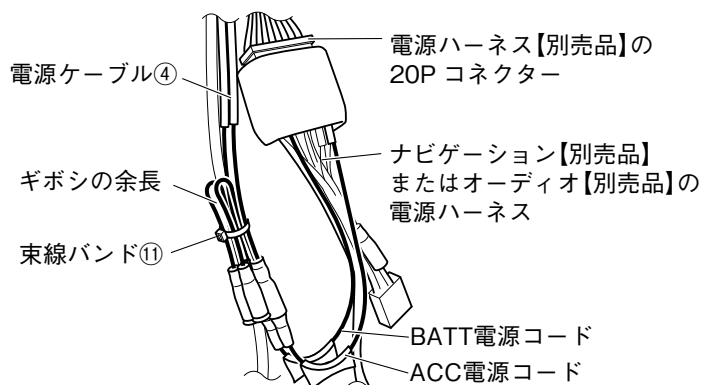
アース端子は他のアース端子と重ならないように取り付けて確認を行ってください。

g. ACC電源、バッテリー電源の取り出し要領

フロント・リヤセット

フロントのみ

●オーディオコネクタ部にギボシ端子がある場合



1. 電源ケーブル④のギボシ端子をナビゲーション【別売品】またはオーディオ【別売品】の電源ハーネスに接続します。ギボシ部の余長は、束線バンド⑪で束ねます。

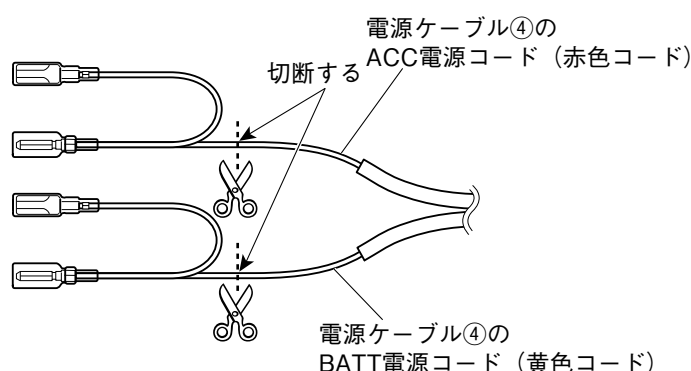
⚠警告

接続しないギボシ端子は、必ず絶縁テープを巻き付けてください。共通編の「結線図 ■用品ナビ・オーディオと共着し、電源ハーネスにACC/バッテリー電源のギボシ端子がある場合」を参照してください。

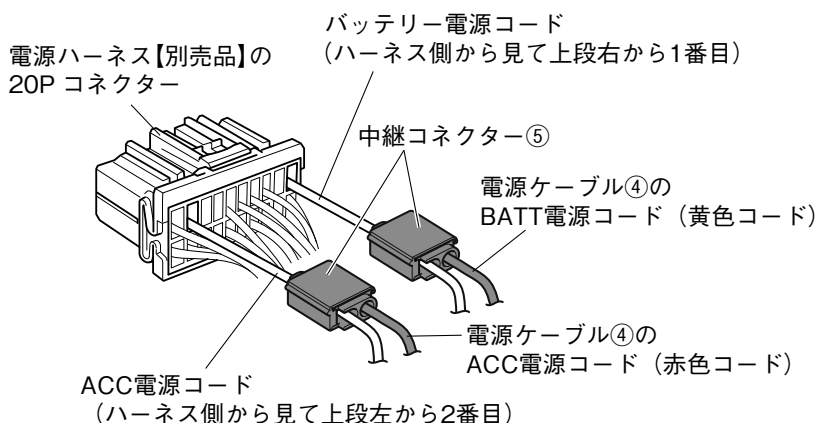
👉アドバイス

電源ケーブル④の接続は、共通編の「結線図」を参照して接続してください。

●オーディオコネクタ部にギボシ端子がない場合



1. 電源ケーブル④のBATT電源コード（黄色コード）およびACC電源コード（赤色コード）先端のギボシ端子部を切断します。

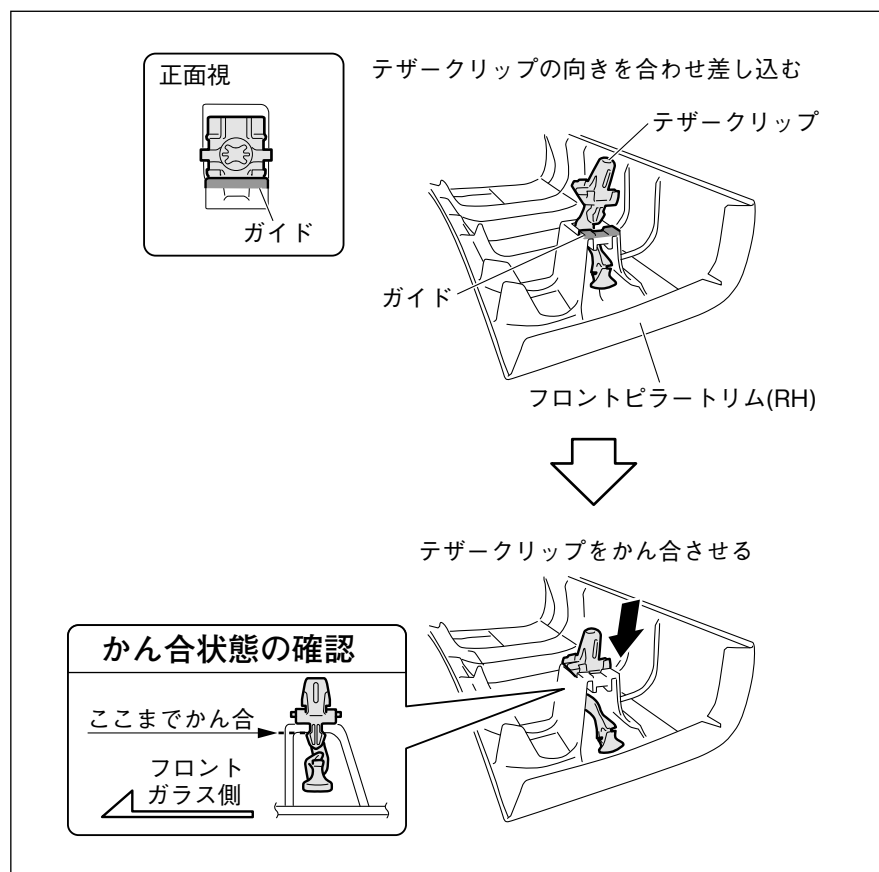


2. 電源ハーネス【別売品】の20Pコネクタ（水色）のバッテリー電源コードに電源ケーブル④のBATT電源コード（黄色コード）を中継コネクタ⑤で接続します。
3. 電源ハーネス【別売品】の20Pコネクタ（水色）のACC電源コードに電源ケーブル④のACC電源コード（赤色コード）を中継コネクタ⑤で接続します。

👉アドバイス

中継コネクタ⑤の接続方法は、共通編の「中継コネクタの使用方法」を参照してください。

5. 車両部品の復元



1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。
2. フロントピラートリム (RH) 上部のテザークリップは、左図の通り復元してください。

- ・ 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
- ・ 取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。
- ・ オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。
- ネジの締め付けトルクが規定されている場合は、規定のトルクで締め付けてください。

⚠ 注意

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
サービスマニュアルを参考に初期化作業を行ってください。